

整形外科

すべての年齢層の脊椎・骨関節疾患が対象になるため、患者数が極めて多く、社会的ニーズの高い診療科です。

● 診療科の紹介 ●

整形外科は運動器を構成する全ての組織と器官の疾病・外傷を対象とし、診療を行う診療科ですが、病態解明と治療法開発に関する研究にも携わっています。取り扱う領域は脊椎・脊髄、骨盤、四肢と広範囲で、全ての年齢層が対象になりますので、最も社会的ニーズの高い診療科と言っても過言ではありません。今後、高齢化社会の加速、スポーツ障害、外傷等の増加ならびに労働災害や交通事故の多発に伴って需要は一層高まると見込まれています。

運動機能を改善し、高いQOLを求める手助けを行っている診療科なので、医療従事者としてのやりがいや満足度も高く、他科と比較しても明るくて前向きな雰囲気にあふれています。

● 専門研修プログラムの特徴 ●

整形外科医は外傷性疾患の治療だけではなく、加齢、スポーツ活動、リウマチをはじめとする全身性疾患、腫瘍性疾患、脊椎疾患などあらゆる運動器疾患に対応できることが求められます。運動器疾患に対する科学的知識と深い洞察力を身につけ、人間性豊かで高い社会的倫理観を備え、さらに、進歩する整形外科医学の基礎および臨床の新しい情報探知能力と、実践で応用できる幅広い基本的な臨床能力を身につける必要があります。多様な疾患に対する専門技能を研修するために、整形外科専門研修は1ヵ月の研修を1単位とする単位制をとり、全カリキュラムを脊椎、上肢・手、下肢、外傷、リウマチ、リハビリテーション、スポーツ、地域医療、小児、腫瘍の10の研修領域に分割し、専攻医が基幹病院および連携病院を機能的にローテーションすることで、それぞれの領域で定められた修得単位数以上を修得し、4年間で48単位を修得する修練プロセスで研修します。本プログラムの連携施設は14施設(香川県立白鳥病院、さぬき市民病院、香川県済生会病院、りつりん病院、坂出市立病院、小豆島中央病院、高松医療センター、広瀬病院、キナシ大林病院、オサカ病院、四国こどもとおとなの医療センター、田中整形外科病院、岩崎病院)です。また、2023年度からは高松市立みんなの病院と高松赤十字病院が連携施設に加わる予定です。

● 研修に関する行事 ●

- 手術症例全体検討会(火曜日8時～、金曜日8時～)
- 診療班別症例検討会(月曜日:腫瘍、関節外科、手外科 水曜日:脊椎外科)
- 手術日(月曜日、水曜日、木曜日)
- 総回診(金曜日8時30分～)
- 論文抄読会(毎週火曜日の手術症例全体検討会後)
- 卒後研修セミナー(年4回)

● 取得できる専門医資格および技能 ●

- 日本整形外科学会専門医

